

日本史

日 本 史

第 1 問 次の文章（A～D）の空欄 ～ , ～ , ～ , ～ に適する語句を、後の語群ア～ヤのうちからそれぞれ一つずつ選べ。また下の問い（問 1 ～ 13）に答えよ。

A 8 世紀前半に政治を主導した の妻に県犬養橘三千代がいる。三千代は、^a天武天皇から元正天皇にいたるまで、女官として仕えた。天武天皇のもとに出仕するのと前後して美努王と結婚し、684 年には葛城王を産み、前年に誕生した軽皇子（のちの文武天皇）の乳母となった。持統天皇が文武天皇に譲位する前後から、しだいに に接近し、再婚した。701 年、首皇子（のちの 天皇）が生まれると、同年、三千代も娘光明子を産み、乳母として首皇子を養育した。そのため、持統太上天皇からの信任が厚く、 が権勢をふるう上で大きな役割を果たした。

三千代はまた女官としての功績を讃えられ、708 年には 天皇から橘宿禰姓を与えられた。716 年には光明子を皇太子首皇子の妃とすることに成功し、720 年に夫の が死去して以降も ^b藤原氏の興隆に尽力した。三千代は 733 年に死去したが、736 年には子の葛城王が橘姓を継ぎ、橘諸兄と名乗った。諸兄は翌年に藤原武智麻呂ら 4 兄弟が相次いで病死したことをきっかけに ^c政界を主導した。

問 1 下線部^aに関連して、天武天皇から元正天皇にいたるまでの時期の出来事に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

- Ⅰ 三世一身法が制定され、墾田の私有が期限付きで認められた。
- Ⅱ 唐の都長安にならって平城京が造営され、藤原京から遷都した。
- Ⅲ 刑部親王らによって大宝律令がつくられ、国家の仕組みが整った。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問2 下線部⑥に関連して、藤原氏の興隆について述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 5

Ⅰ 藤原氏は、長屋王を自殺に追い込んだ後、光明子を皇后に立てることに成功した。

Ⅱ 氏寺として平城京の右京に建立された興福寺は、天皇や皇后らによって堂塔が整備された。

- ① Ⅰ－正 Ⅱ－正 ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤
③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正 ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

問3 下線部⑦に関連して、橘諸兄が政界を主導した時期の政策や出来事について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 6

- ① 玄昉と吉備真備の排除を求めた反乱が九州で起こった。
② 恭仁京や難波宮などに、相次いで遷都が行われた。
③ 大仏造立の詔が出され、紫香楽宮で造立が始まった。
④ 京内の治安維持をはかるため、新しく検非違使が設けられた。

B 二条良基は1320年、摂関家に生まれた。初めは[7]統の後醍醐天皇に仕えたが、^①建武の新政が崩壊して以降は北朝に属した。二条良基は3代将軍[8]が1378年、権大納言兼右近衛大将に任じられて以降、^②武家を公家社会に取り込むことで北朝の安定をはかろうとした。この結果、[8]は1383年に准三后の称号を得、1394年には太政大臣に就任するなど、公家・武家をまたぐ政治権力を樹立することとなった。

二条良基は文芸でも活躍した。和歌や連歌に優れ、なかでも^③連歌の文芸的な価値を高めた。また、禅僧義堂周信や、『[9]』を著した猿楽師世阿弥とも交わり、北山文化を創造した。

問4 下線部①に関連して、建武の新政のなかで後醍醐天皇が行った政策について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [10]

- ① 記録荘園券契所を設け、荘園整理を厳密に行った。
- ② 引付を設け、所領問題を処理した。
- ③ 陸奥将軍府・鎌倉将軍府を設け、皇子を派遣した。
- ④ 建武式目を定め、政治の基本方針を示した。

問5 下線部②に関連して、この当時の公家と武家の関係や交流について述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。 [11]

- Ⅰ 守護は荘園・公領の年貢徴収を請け負った。
- Ⅱ 茶寄合がさかんに行われ、闘茶が流行した。

- ① Ⅰ－正 Ⅱ－正 ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤
- ③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正 ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

問6 下線部③に関連して、連歌に関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 [12]

- Ⅰ 連歌の規則書として『応安新式』が定められた。
- Ⅱ 俳諧連歌が流行し、『犬筑波集』が編集された。
- Ⅲ 宗祇とその弟子たちが『水無瀬三吟百韻』をよんだ。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

C 徳川和子は、江戸幕府の2代将軍[13]の娘として生まれ、江戸時代初期の不安定な朝幕関係のなか、1620年に後水尾天皇へ嫁いだ。この婚姻をきっかけとして、幕府は天皇の領地である[14]を増やすなど朝廷に対して財政援助を行い、関係の融和をはかった。このことは⑧京都で寛永期の文化が花開く要因となった。

一方で、幕府は⑨天皇や公家の行動・生活に対して規制を加えた。1627年には幕府の許可のない紫衣の勅許を無効とし、これに抗議した沢庵らを1629年に処罰した。同年、後水尾天皇が幕府の同意を求めずに突然譲位した際には、和子の娘[15]天皇が即位したこともあって、追認したものの、⑩幕府は摂家らに厳重な朝廷統制を命じた。

問7 下線部⑧に関連して、寛永期の文化について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 [16]

- ① 狩野永徳が『洛中洛外図屏風』を描いた。
- ② 本阿弥光悦が『舟橋蒔絵硯箱』を製作した。
- ③ 尾形光琳が『燕子花図屏風』を描いた。
- ④ 円山応挙が写生を重視した画風を広めた。

問8 下線部⑨に関連して述べた次の文Ⅰ・Ⅱと、それに関連する下の語句a～dの組合せとして正しいものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。 [17]

Ⅰ 南禅寺の禅僧で、禁中並公家諸法度を起草した。

Ⅱ 譜代大名が任じられ、朝廷との折衝にあたった。

a 金地院の崇伝 b 林羅山 c 京都所司代 d 武家伝奏

- ① Ⅰ－a Ⅱ－c ② Ⅰ－a Ⅱ－d
- ③ Ⅰ－b Ⅱ－c ④ Ⅰ－b Ⅱ－d

問9 下線部①に関連して、江戸時代の朝廷と幕府の関わりに関して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 18

Ⅰ 老中堀田正陸は、朝廷に通商条約調印の勅許を求めたが、勅許は得られなかった。

Ⅱ 新井白石は、朝廷との融和をはかり閑院宮家を創設した。

Ⅲ 光格天皇は、父への尊号宣下を幕府に求めたが、老中松平定信は拒否した。

① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ

④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

D 吉田茂は、土佐出身の竹内綱の五男として生まれた。竹内綱は①自由民権運動の活動家で、吉田が生まれた時は、西郷隆盛らが拳兵した[19]に呼応した立志社の拳兵計画に関与したとして投獄されていた。そのため、吉田茂は幼時に横浜の貿易商吉田健三の養子となった。

吉田は1906年に東京帝国大学を卒業して外務省に入った。同期には[20]がいた。その後②田中義一内閣の外務次官となったが、続く浜口雄幸内閣では駐イタリア大使に転出した。1936年、二・二六事件後に[20]が内閣を組織した際、吉田には外務大臣への就任が予定されていたが、陸軍の反対によって実現しなかった。

第二次世界大戦中は、③ドイツとの提携、イギリス・アメリカとの戦争に批判的で、戦後は東久邇宮稔彦内閣、幣原喜重郎内閣の外相としてGHQとの交渉にあたった。1946年5月には連合国軍最高司令官[21]の支持のもと、第1次吉田茂内閣を組織した。1947年5月に首相を退いたが、④1948年10月に再び内閣を組織して以降、1954年12月に総辞職するまで長期政権を担った。

問10 下線部①に関連して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

22

- ① 立憲政体を徐々に樹立する旨の詔が出された。
- ② 板垣退助らが民撰議院設立の建白書を政府に提出した。
- ③ 国会期成同盟が国会開設請願書を政府に提出しようとした。
- ④ 政府は国会開設請願書を受理せず、讒謗律を制定した。

問11 下線部②に関連して、田中義一内閣と浜口雄幸内閣の行った施策に関して述べた次の文 a～d について、正しいものの組合せを、下の①～④のうちから一つ選べ。 23

- a 田中義一内閣は、中国に対して不干渉主義を掲げた。
- b 田中義一内閣は、日本人居留民保護を掲げて山東出兵を実施した。
- c 浜口雄幸内閣は、戦争放棄に関する不戦条約を結んだ。
- d 浜口雄幸内閣は、ロンドン海軍軍縮条約を結んだ。

- ① a・c ② a・d ③ b・c ④ b・d

問 12 下線部①に関連する次の語句Ⅰ・Ⅱと、それについて述べた下の文 a～d の組合せとして正しいものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。 24

Ⅰ 日独伊三国同盟 Ⅱ 日米交渉

- a アメリカからの攻撃に対する相互援助を約束した。
- b コミンテルンに対する共同防衛を約束した。
- c 第2次近衛文麿内閣のもとで交渉が開始された。
- d 東条英機内閣が成立すると交渉は打ち切られた。

- ① Ⅰ－a Ⅱ－c ② Ⅰ－a Ⅱ－d
- ③ Ⅰ－b Ⅱ－c ④ Ⅰ－b Ⅱ－d

問 13 下線部㊸に関連して、この期間に行われた施策について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 日本国憲法が公布された。
- ② 単一為替レートが設定された。
- ③ 日米安全保障条約が締結された。
- ④ 陸・海・空の自衛隊が発足した。

〔語群〕

ア 大覚寺	イ 称徳	ウ 徳川秀忠	エ 推古
オ 藤原仲麻呂	カ 近衛文麿	キ 禁裏御料	ク 荘園
ケ 枕草子	コ 禁秘抄	サ 元明	シ 足利義満
ス 知行国	セ 広田弘毅	ソ 甲申事変	タ トルーマン
チ 光明	ツ 天智	テ 徳川家光	ト 西南戦争
ナ 聖武	ニ 藤原良房	ヌ 足利義持	ネ 足利尊氏
ノ 皇極	ハ マッカーサー	ヒ 桓武	フ 長講堂
ヘ 風姿花伝	ホ 斎藤実	マ 徳川家康	ミ 佐賀の乱
ム ローズヴェルト	メ 藤原不比等	モ 持明院	ヤ 明正

第2問 次の文章（A～C）を読んで、下の問い（問1～8）に答えよ。（史料は一部省略したり、書き改めたりしたところもある。）

A 8世紀前半、天然痘の大流行により人口が激減し、耕地が大きく荒廃した。そのため、政府は743年、アを制定して開発を奨励した。その結果、9世紀にかけて皇族・貴族や大寺院らが盛んに墾田開発を進めた。

ところが10世紀の後半から11世紀にかけて、再び耕地の荒廃が進んだ。これに対し、中央政府への租税納入の責任を負い、イとよばれるようになった任国に赴任する国司の最上席者は、^a地方豪族や有力農民らに対して耕地の開発・再開発を奨励した。11世紀末から12世紀初めには、開発・再開発が各地で盛んになり、それにとまって^b荘園の設立も増加した。

問1 空欄ア・イに入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。26

- | | | | | | |
|---|-----------|------|---|-----------|------|
| ① | アー班田収授法 | イー目代 | ② | アー班田収授法 | イー受領 |
| ③ | アー墾田永年私財法 | イー目代 | ④ | アー墾田永年私財法 | イー受領 |

問2 下線部^aに関連して、次の史料は945年、数百人の民衆に担われて京に向かった志多羅神の神輿を囲み、民衆が熱狂的に踊り歌った時の歌謡の一節（現代語訳）である。その内容に関して述べた下の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。27

月は笠着る 八幡種蒔〔ま〕く さあ我らは 荒田を開こう（中略）
志多羅打てば わきでるように牛も現わる 鞍を敷け さあ米を負わそう（中略）
富は連なり ゆさゆさやってきた 屋敷を構えよ 竈〔かまど〕を設けよ そして我らは
千歳栄えん

（『本朝世紀』）

- Ⅰ 当時の開発や農業では牛や馬などの動物は利用されていなかった。
Ⅱ この歌謡には、豊穰や豊かな生活への民衆の願望が反映されている。

- | | | | | | |
|---|-----|-----|---|-----|-----|
| ① | Ⅰ－正 | Ⅱ－正 | ② | Ⅰ－正 | Ⅱ－誤 |
| ③ | Ⅰ－誤 | Ⅱ－正 | ④ | Ⅰ－誤 | Ⅱ－誤 |

問3 下線部⑥に関連して、この当時に設立された荘園に関する次の語句Ⅰ・Ⅱと、それに関連して述べた下の文a～dの組合せとして正しいものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

28

Ⅰ 不入の権 Ⅱ 八条院領

- a 国家へ納める租税が免除された。
- b 国衙の役人の立入りを拒否できた。
- c 鳥羽上皇が寄進を受けた荘園を皇女に伝えた。
- d 後白河上皇が寄進を受けた荘園を持仏堂に寄進した。

- ① Ⅰ－a Ⅱ－c ② Ⅰ－a Ⅱ－d
- ③ Ⅰ－b Ⅱ－c ④ Ⅰ－b Ⅱ－d

B 16世紀以降、㉓海外から新しい精錬や排水の技術が伝えられ、各地で金銀銅の鉱山の開発がさかんに行われた。これらの技術には治水や灌漑施設の整備に転用されたものもあり、17世紀には江戸幕府や諸藩によって大規模な新田開発が行われた。こうして新田開発が急速に進むなか、新しい村々が各地に生まれた。さらに、検地がくり返し実施され、㉔小経営の百姓の自立が広範に進んだ。

問4 下線部㉓に関連して述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。 29

- Ⅰ 博多商人が石見（大森）銀山に朝鮮から銀の精錬技術を伝えた。
- Ⅱ 徳川家康が銀の精錬技術などを求め、メキシコ（ノビスパン）との通商を計画した。
- Ⅲ 海舶互市新例が出され、金・銀産出の減少にみあった貿易額の制限がはかられた。

- ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ
- ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問5 下線部㉔に関連して、小経営の百姓に適合した形で発展した農業について述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 30

- ① 龍骨車などの新しい農具が開発された。
- ② 刈敷など速効性に富む金肥が使われた。
- ③ 木綿の栽培は禁止され、広まらなかった。
- ④ 『農業全書』などの農書が広く読まれた。

C 産業革命の進展によって工業生産力を高めた欧米諸国は、市場や原料の供給地を求め、19世紀半ばには東アジアへの進出を本格化させた。日本は1858年、をはじめとする安政の五カ国条約を結び、^e欧米主導の自由貿易体制のもとに組み込まれた。そして、1867年に太平洋航路が整備され、1869年にスエズ運河が完成すると、欧米諸国から蒸気船が頻繁に往来した。その結果、上海や香港などに向けて日本からがさかんに輸出された。

1880年代後半から日本でも産業革命が進むとの国内での消費が増え、それにともない、各地で労働強化に反発した^f労働者の暴動が頻発した。

問6 空欄・に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | | | |
|--|------------------------------------|--|------------------------------------|
| ① <input type="text" value="ウ"/> ー日米修好通商条約 | <input type="text" value="エ"/> ー石油 | ② <input type="text" value="ウ"/> ー日米修好通商条約 | <input type="text" value="エ"/> ー石炭 |
| ③ <input type="text" value="ウ"/> ー日米和親条約 | <input type="text" value="エ"/> ー石油 | ④ <input type="text" value="ウ"/> ー日米和親条約 | <input type="text" value="エ"/> ー石炭 |

問7 下線部^eに関連して、当時欧米諸国との間で行われた自由貿易とその影響に関して述べた文として正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 欧米商人の居住・営業は居留地に限られた。
- ② 輸出品は江戸の問屋を通じて開港場に送られた。
- ③ イギリスに向けて安価な綿織物が多く輸出された。
- ④ イギリス商人により中国産の生糸が多く輸入された。

問8 下線部^fに関連して、労働者のおかれた状況や労働運動に関して述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 高野房太郎らにより労働組合期成会が結成された。
- ② 政府は労働運動を保護するための保安条例を制定した。
- ③ 繊維産業の工場労働者の大半は女性で、長時間労働を強いられていた。
- ④ 鈴木文治らが労働者の地位向上などを目的に、友愛会を結成した。

第3問 次の①～⑤は古代から近世までの出来事であるが、最も関係の深い場所を、下の地図中のア～タのうちからそれぞれ一つずつ選べ。

- | | |
|-----------|----|
| ① 平将門の乱 | 34 |
| ② 応永の乱 | 35 |
| ③ 天文法華の乱 | 36 |
| ④ 島原の乱 | 37 |
| ⑤ ラクスマン来航 | 38 |



第4問 次の文章（A～C）を読んで、下の問い（問1～7）に答えよ。

A 6世紀に□ア□から伝えられた仏教は、東アジアの先進的な技術・文明として受け入れられた側面をもっていた。たとえば、寺院は礎石・瓦を用いた大陸風の建築であったし、[Ⓐ]その内部には大陸伝来の技術で造られた仏像が安置されていた。10世紀にはそれまでの大陸文化を取り入れながら創意工夫が重ねられ、日本独自の仏像彫刻が形成された。代表的なものが、□イ□が制作した平等院鳳凰堂阿弥陀如来像である。

問1 空欄□ア□・□イ□に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 □39□

- | | |
|-------------|-------------|
| ① アー百済 イー運慶 | ② アー百済 イー定朝 |
| ③ アー新羅 イー運慶 | ④ アー新羅 イー定朝 |

問2 下線部[Ⓐ]に関連して、7世紀から9世紀にかけて造られた仏像について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

□40□

- Ⅰ 唐僧鑑真の肖像彫刻が乾漆技法によって造られた。
Ⅱ 神護寺の薬師如来像が一木造で制作された。
Ⅲ 鞍作鳥が法隆寺金堂の釈迦三尊像を制作した。

- | | | |
|---------|---------|---------|
| ① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ | ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ | ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ |
| ④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ | ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ | ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ |

B 11 世紀から 14 世紀にかけて大陸と日本の中で民間商船がさかんに往来し、貿易や文化交流が活発に行われた。そこで⑥さまざまな大陸文化が伝わり、広まった。⑦鎌倉幕府や室町幕府は禅宗を保護し、日本での宋・元代の中国文化の普及に大きな役割を果たした。

14 世紀後半に成立した明は、中国人の海外渡航を禁じる海禁政策をとったため、中国人僧の来日が途絶えるなど日中間での直接的な文化交流が後退したが、17 世紀半ばに禅僧隠元隆琦が渡来し、⑧明末・清初の新しい中国文化を伝えた。

問3 下線部⑥に関連して、この時期における大陸文化の伝来・普及について述べた次の文Ⅰ～Ⅲについて、古いものから年代順に正しく配列したものを、下の①～⑥のうちから一つ選べ。

41

Ⅰ 白河天皇は法勝寺に八角九重塔を建立した。

Ⅱ 重源は、東大寺の再建に際し、大陸からの新たな建築様式を取り入れた。

Ⅲ 北条時頼が建長寺を建立した。

① Ⅰ－Ⅱ－Ⅲ ② Ⅰ－Ⅲ－Ⅱ ③ Ⅱ－Ⅰ－Ⅲ

④ Ⅱ－Ⅲ－Ⅰ ⑤ Ⅲ－Ⅰ－Ⅱ ⑥ Ⅲ－Ⅱ－Ⅰ

問4 下線部⑦に関連して、禅宗を通じた中国文化の普及に関して述べた次の文Ⅰ・Ⅱと、それに関連する下の語句 a～d の組合せとして正しいものを、あとの①～④のうちから一つ選べ。

42

Ⅰ 元の禅僧一山一寧に師事した虎関師錬が、日本初の仏教史書を著した。

Ⅱ 北山殿に建てられた舍利殿で、寝殿造風と禅宗様が折衷されている。

a 『元亨釈書』

b 『愚管抄』

c 慈照寺銀閣

d 鹿苑寺金閣

① Ⅰ－a Ⅱ－c ② Ⅰ－a Ⅱ－d

③ Ⅰ－b Ⅱ－c ④ Ⅰ－b Ⅱ－d

問5 下線部④に関連して、明・清文化の影響を強く受けた江戸時代の文化について述べた次の文Ⅰ・Ⅱについて、その正誤の組合せとして正しいものを、下の①～④のうちから一つ選べ。

43

Ⅰ 徳川家康が建立した日光東照宮は、権現造の代表作である。

Ⅱ 池大雅・蕪村によって、文人画が大成された。

① Ⅰ－正 Ⅱ－正 ② Ⅰ－正 Ⅱ－誤

③ Ⅰ－誤 Ⅱ－正 ④ Ⅰ－誤 Ⅱ－誤

- C 明治政府は、建築の西洋化を積極的に進めた。政府はまず、イギリス人 など、お雇い外国人を招いて設計を依頼した。また、欧米の建築技術を教授するための教育機関を整え、旧東宮御所（迎賓館赤坂離宮）を設計した などの日本人建築家を育てた。
- 一方、民間での洋風摂取の試みも活発で、㊦ 地方行政の近代化や小学校の設立、経済の発展などにともない、各地で洋風建築が広がっていった。

問6 空欄 ・ に入る語句の組合せとして正しいものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- | | | | | | |
|---|---------|--------|---|---------|--------|
| ① | ウーコンドル | エー片山東熊 | ② | ウーコンドル | エー岡倉天心 |
| ③ | ウーフェノロサ | エー片山東熊 | ④ | ウーフェノロサ | エー岡倉天心 |

問7 下線部㊦に関連して、明治期における近代化の進展について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

- ① 市制・町村制が定められ、地域の有力者による地方自治制が整えられた。
- ② 学制が公布され、男女に等しく学ばせるため、小学校の設立が進められた。
- ③ 紡績業では、輸入の機械と蒸気機関を用いた大規模な工場が建てられた。
- ④ 都市の郊外には、俸給生活者（サラリーマン）など新中間層向けの文化住宅が建てられた。

（日本史の問題は終わり）